

地域の医療ニーズに対応した先進的な薬学教育に係る取組支援事業
取組の概要と推進委員会からの主なコメント

		整理番号	6
代表校名 (連携校名)	広島大学(島根大学 計1大学)		
事業名	連携で地域医療を支える薬学教育の構築 ～中高大接続から大学・行政・病院薬局連携でシームレスに地域を支えるヒロダイ薬学教育拠点～		
事業責任者	学部長 紙谷 浩之		
事業の概要			
<p>薬剤師の地域偏在が招く中山間地域医療の崩壊は解決すべき喫緊の課題であり、広島県や島根県でも中山間地域における薬剤師不足から持続的な医療提供が困難になっている。その原因として、地域へ薬剤師を配置するシステムの欠如、地域医療に対する中高生・大学生の意識の未成熟が挙げられる。これらを解決するために本取組では、1) 地域医療連携協働体である「地域医療薬学コンソーシアム」と中山間地域の薬剤師を確保する「地域薬剤師配置システム」の構築、2) 医療機関と学生・薬剤師を結ぶ、全国初の「ヒロダイマッチングシステム」の開発、3) 中学生・高校生から大学生までをシームレスに教育し、地域医療を自らの課題として考える力を培い、U・Iターンを促進する「職域と県を超えた連携教育」を行う。これら取組により、中高大接続と大学・行政・医療機関・薬剤師/医師連携でシームレスに地域医療を支える「ヒロダイ薬学教育拠点」を構築する。</p>			
選定委員会からの主なコメント ○：優れた点等、●：改善を要する点等			
<p>○「地域医療薬学コンソーシアム」「地域薬剤師配置システム」及び全国初の「ヒロダイマッチングシステム」の構築は、地域医療の推進につながる可能性があり、非常に優れている。</p> <p>○アウトカムやアウトプットとその評価の指標は明確であり、評価方法の観点で優れている。</p> <p>○過疎地域の医療の実態を学ぶ臨床実習や広島県業務課でのインターンシップなど、地域や施設が具体的に想定されており、実効性に富む。</p> <p>○取り組みの継続に関して、過去の実績より自己資金などを活用して継続している点は評価できる。</p> <p>○堅実な年度計画が立てられており、実現の可能性が高い。</p> <p>●単に学生・既卒薬剤師と医療機関の希望でマッチングシステムを構築したとしても、中山間地域等の薬剤師不足地域に学生・既卒薬剤師が就職・転職を希望するとは思えない。「地域医療セミナー」、「中山間地域での臨床実習」、「学生インターンシップ」、「教職員人材交流」をどのように活用してマッチングシステムの有効性を高めるのかのアイデアがあると理解しやすい。</p> <p>●「ヒロダイ薬学教育」の対象学年が5, 6年次のみとなっていることから、効果が期待できるまでには及ばないため、本事業の趣旨に合致した教育プログラムを導入することが望ましい。</p> <p>●広島県中山間地域および島根県の病院・薬局実習は2週間と期間が短く、効果が期待できるまでには及ばないため、期間の延長が望ましい。</p> <p>●本事業終了後の継続に関し、外部(行政、薬剤師会等)負担を期待しているため、財源的に不安定となる可能性がある。</p>			